

第1回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立市岡高等学校
校長名	松永 淳子

開催日時	令和4年7月12日(火)16:00~
開催場所	大阪府立市岡高等学校 2階 校長室
出席者(委員)	深野康久会長、藤田正樹委員、中田昌彦委員、木村幹彦委員、 岡村あかり委員、中山貴詞委員
出席者(学校)	松永淳子校長、島和広教頭、河村未来首席、柴田卓首席、島田浩史教諭、 青木一規教諭、萩原嵩大教諭
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和4年度 学校経営計画及び学校評価 ・市岡高校卒業生の進路状況と入試結果 ・令和5年度使用教科書図書選定理由書(案) ・令和4年度 第1回授業アンケートについて ・学校案内リーフレット
議題等	
<p>(1) 学校長あいさつ</p> <p>(2) 確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について ②今年度の学校経営方針、取組みの状況と令和3年度卒業生の進路状況等について <ul style="list-style-type: none"> (i)令和4年度「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣受賞報告 (ii)学年主任より報告 (iii)令和3年度卒業生進路状況について報告 (iv)「学校経営計画および学校評価」について ③「令和5年度使用教科書選定」について ④令和4年度授業アンケート実施について ⑤制服検討委員会の設置について <p>(3) 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールミッション、スクールポリシー策定について 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>(2)確認・報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「教員の授業とその他の教育活動に関する意見書」について →投稿はありませんでした。 ②今年度の学校経営方針、取組みの状況と令和3年度卒業生の進路状況等について <ul style="list-style-type: none"> (i)令和4年度「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣受賞報告 →高校では1校のみの受賞であった。 	

(ii) 学年主任より報告

3年(75期生)

- ・コロナ禍で制限の多い学校生活が続いていたが、体育祭や修学旅行を実施できるなど、少しずつコロナ禍以前の学校生活を取り戻しつつある。
- ・それぞれが進路実現に向けて頑張っている。

2年(76期生)

- ・勉強面、生活面両方での2年次の中だるみが課題である。
- ・勉強についてくるのが厳しい子へのサポートに追われ、上位層のサポートができていなかった。
- ・有志の生徒に対して、評論文マラソンを実施。生徒が職員室に課題を取りに来ることにより、教員側がやる気のある生徒を把握できるという点もメリットである。

1年(77期生)

- ・市岡高校の良さを活かすため、いろいろなことに挑戦する、元気な学年にしていきたい。
- ・学校行事(校外学習、体育祭)で盛り上がっている。
- ・部活動加入率は83%程度。
- ・学年での企画(クラスマッチなど)を積極的に企画していくことで、元気な学年づくりを目指し、進路実現につなげていきたい。

(iii) 令和3年度卒業生進路状況について報告

- ・ここ2年は私立合格実績、国公立合格実績ともに上昇傾向になっている。
- ・就職する生徒は少ない。
- ・早く受験勉強を終わらせたいと中途半端に進路を決めてしまう生徒がいる。「第1志望をあきらめない、最後まで頑張る、粘る」ということを伝え続けたい。
- ・私立大学から共通テスト利用入試を勧めてほしいという声が上がっている。

(iv) 「学校経営計画および学校評価」について

令和3年度分について

- ・コロナからの教訓を活かすという内容を取り込んだ。
- ・志願倍率の目標値は1.1~1.2倍としているが、この春の志願倍率は1.17倍となり、達成された。
- ・学習支援クラウドサービスの使用率は73.8%であった。

令和4年度分について

- ・重点目標にCOVID-19の内容を追加。

※志願倍率が目標値を達成できた理由は何か。 →様々な要因が考えられる

- ・令和2年度はコロナ禍ということもあり、中学校訪問、PTA開催の生徒や保護者向けの説明会、オープンスクールを実施できていなかった。
- ・令和3年度は上記の内容を開催できたとともに、中3の担任向けの説明会を新たに実施したことにより、志願倍率が回復したと考えられる。
- ・進路研を本校で開催できた。
- ・国語の入試問題をC問題からB問題に変更した。

③「令和5年度使用教科書選定」について
→選定教科書の紹介と観点別評価について

④令和4年度授業アンケート実施について

⑤制服検討委員会の設置について
→多様性の重視のため、ジェンダーに対応し、選択肢を増やすために検討。

(3)協議

スクールミッション、スクールポリシー策定について
→学校教育法施行規則の改定に伴い、策定が必要になった。

[各パートからの市岡高校に期待するもの(感想、意見など)]

○PTAから

「単位制」がわからない。入学してから理解し、良さがわかる状態になっている。

○後援会から

部活動の雰囲気が良いのが良さ。在学中、単位制をもっとうまく活用できたと感じる。授業選択の時期が早く、いらぬ授業をとってしまったたり、必要な授業を取れなかったりした。

○中学校から

公立高校は通学のしやすさと点数だけで決まる。

中学では3年後から、中学と部活が切り離される。高校も同じようになるかわからないが、もしなるなら、10年後まで使われるスクールミッションに組み込むのはどうなのか。

○小学校から

私立とは違う、公立だからこそその自由さをアピールしていく。

○会長から

学校の管理職だけで策定してしまうのではなく、学校の教職員からできるだけ意見をとって策定していくべきである。